

エストニア共和国

(Republic of Estonia)

I 概要

1. 人口	約 131 万人 (2016 年 1 月)	5. 1 人当たり国内総生産 (GDP)	15,580 ユーロ (2015 年, IMF 推定)
2. 面積	4.5 万平方キロメートル (日本の約 9 分の 1)	6. 首都	タリン
3. 政治体制	共和制	7. 通貨単位	ユーロ
4. 言語	エストニア語 (フィン・ウゴル語派)		

《出典》外務省ウェブサイト (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/estonia/data.html>) (更新日: 2016 年 5 月 20 日)。

II 教育の普及状況

教育段階	年	在籍率	性別	
			男	女
就学前教育	2012 年	93%	94%	91%
初等教育	2013 年	101%	101%	101%
中等教育	〃	109%	109%	108%
高等教育	〃	73%	59%	88%

(通常の年齢よりも早い又は遅い入学や留年等を理由とする該当年齢以外の在籍者を含む)

III 教育行政制度

中央には教育・研究省が置かれ、就学前教育から高等教育、職業教育、生涯学習における、国の教育政策の企画立案等を行っている。地方政府は、就学前教育から中等教育における政策の実施や学校の管理・維持を行っている。

IV 学校体系

(学年暦：9月から翌年8月)

1. 就学前教育

就学前教育は、1.5～6歳児を対象に、就学前教育施設で行われる。

2. 義務教育

義務教育は、7歳から始まる基礎教育の9年間である。

3. 初等教育・前期中等教育

初等・前期中等教育は、基礎教育として、7歳入学で9年間、基礎学校（9年制）又はギムナジウム（12年制）の基礎教育課程で行われる。また、基礎教育の第1～6学年を提供する初等学校もある。基礎教育課程を修了し、修了試験に合格したものに対して、基礎教育修了証が授与される。

17歳で基礎教育を修了していない生徒は、職業教育（6か月～2年半）を受けることができる。

4. 後期中等教育

後期中等教育は、普通教育及び職業教育に分かれる。

普通教育は、基礎教育修了者を対象に、3年間、ギムナジウムで行われる。終了時に試験が行われ、合格者にはギムナジウム修了証が授与される。

職業教育は、3年間、職業学校において行われる。職業学校の修了者には、中等職業教育修了証が授与される。2016年9月から職業教育を修了するためには職業資格試験の合格が必須となる。また、中等後教育技術学校では、後期中等教育修了者を対象とした2.5年の課程や基礎教育修了者を対象とした5年の課程が置かれる。

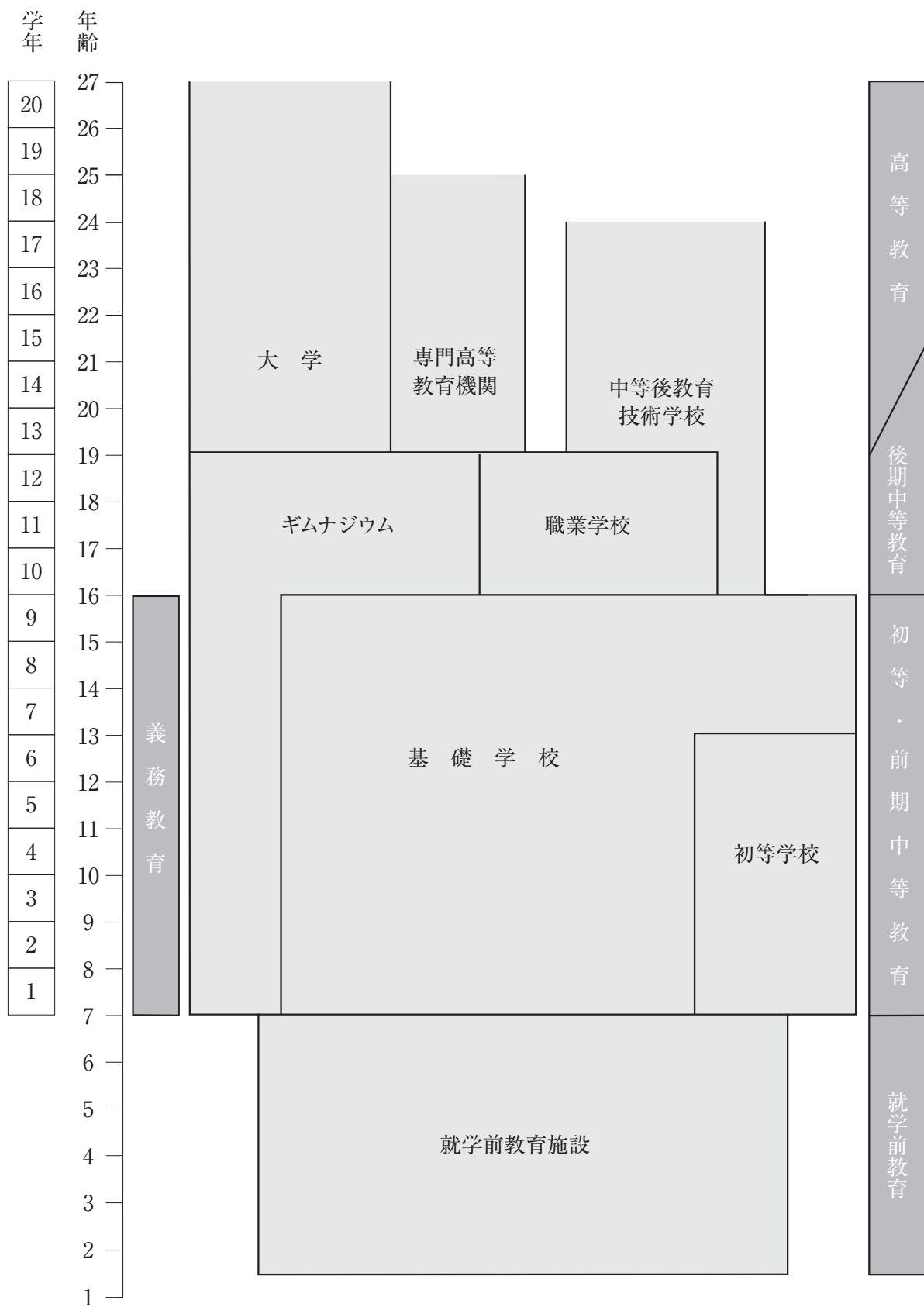
5. 高等教育

高等教育は、大学及び専門高等教育機関において行われる。入学に当たっては、後期中等教育修了者を対象に、機関ごとに選抜が行われる。大学には、学士課程（3～4年）、修士課程（1～2年）、博士課程（3～4年）が置かれる。専門高等教育機関では、専門分野に関する実践的な課程が置かれ、修了者にはディプロマ（3～4.5年）が授与される。修士課程を置く機関もある。また、中等後教育技術学校で専門ディプロマ取得課程（3～4年）を置くものもある。

《参考資料》

- Eurydice, Estonia (<https://webgate.ec.europa.eu/fpfis/mwikis/eurydice/index.php/Estonia:Overview> ほか) (2016年8月15日閲覧)。
- UNESCO, World Data on Education, 7th edition, 2010/11.
- エストニア教育研究省ウェブサイト (<https://www.hm.ee/en>) (2016年8月16日閲覧)。

V 学校系統図



VI 取得可能な資格・学位

